

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月22日

計画の名称	折尾地区の安全・安心で快適なまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北九州市												
計画の目標	J R折尾駅周辺の鉄道連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業等を総合的に実施することにより、交通結節機能を活かした、安全・安心なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,872	A	1,872	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	・本市地域防災計画に位置づけられている、折尾駅南側における特定消防区域（火災危険度の高い区域）の指定を解除し、安全・安心なまちづくりを推進する。 ・折尾駅周辺地区における、特定消防区域（火災危険度の高い区域）の面積率 (R2末現在、市地域防災計画で位置づけられている面積を100%として算出)	100%	%	0%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

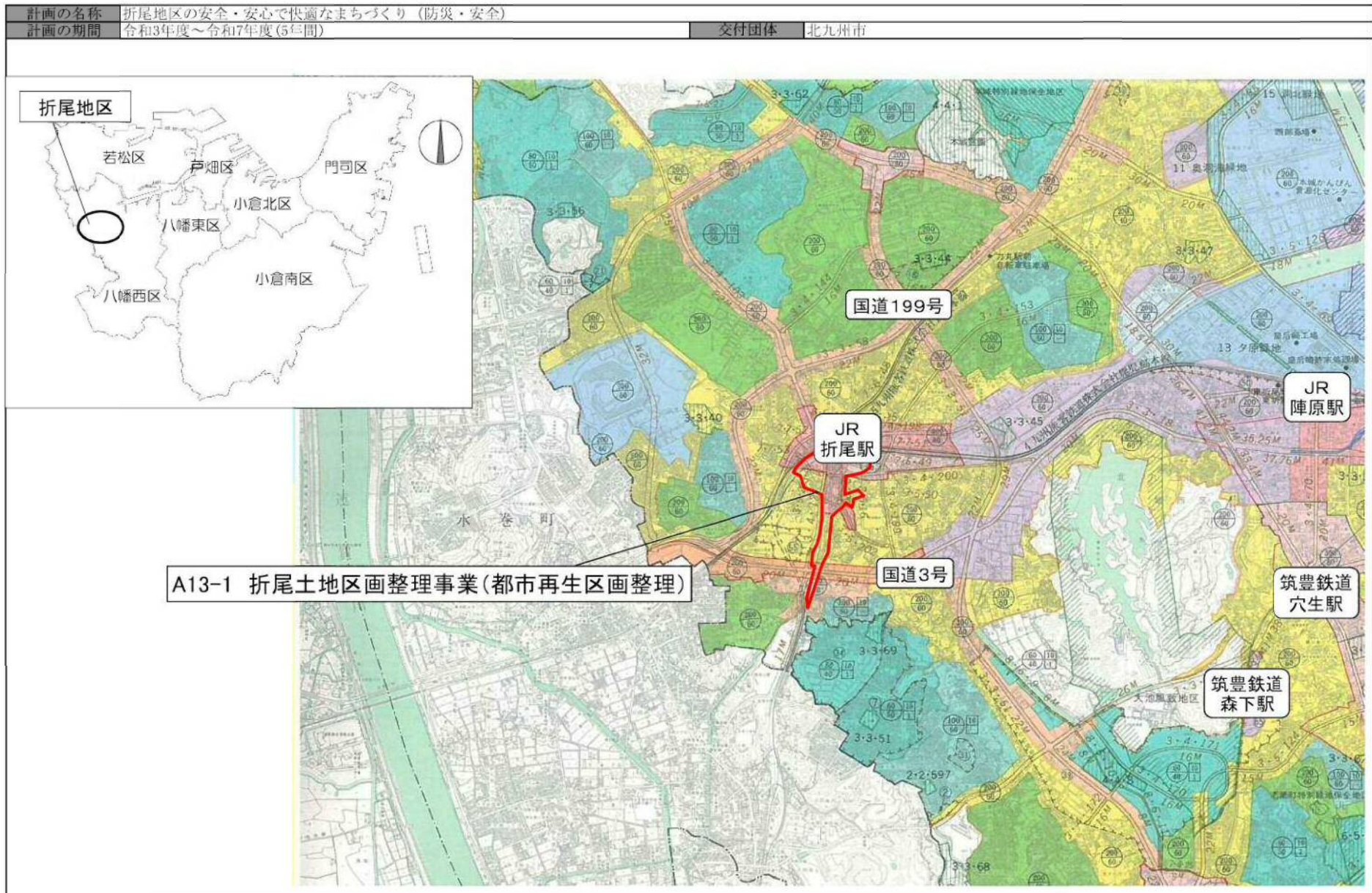
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	折尾土地区画整理事業	都市再生区画整理 16.9 ha	北九州市	■	■	■	■	■	1,872		—
											小計						1,872		
											合計						1,872		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	218	231			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	218	231			
前年度からの繰越額 (d)	83	110			
支払済額 (e)	191	251			
翌年度繰越額 (f)	110	90			
うち未契約繰越額 (g)	68	25			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	22.59	7.33			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との調整等に不足の日数を要したため。				

社会資本総合整備計画 参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 折尾地区の安全・安心で快適なまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価		チェック欄
I. 目標の妥当性		
①上位計画等との適合等	1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性		
②地域の課題への対応	1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性		
②地域の課題への対応	2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性		
④事業の効果	1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
④事業の効果	2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性		
⑤地元の熱意	1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性		
⑤地元の熱意	2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性		
⑤地元の熱意	3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○